

海外の取り組みについてもっと知りたい方へ

海外におけるPPIの取り組みは、下に示すウェブサイトをご参照ください。



英国



カナダ



米国



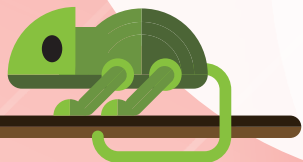
EU

PPIについて もっと詳しく知りたい方へ

2019年4月、AMEDウェブサイトにて、
「患者・市民参画 (PPI) ガイドブック
～患者と研究者の協働を目指す第一歩として～」が公開されました。

実施に向けた具体的なヒントや、企画のコツ、
こういった活動がPPIに該当するのか、
といったことについては、ガイドブックをぜひご参照ください。

PPIに関するお問合せ先
ppi@amed.go.jp



PPI

Patient and Public Involvement

医学研究・

臨床試験における

患者・市民参画 (PPI)

について



対話を活かして、
よりよい研究を
してみませんか？



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

Q1 医学研究・臨床試験における患者・市民参画 (PPI) ってなに？

A

AMEDでは、患者・市民として、患者・家族・元患者（サバイバー）・未来の患者といった方々を想定しています。そして、患者・市民参画（PPI）を、研究者が研究を進める上で、患者・市民の知見を参考にすること、と定義しています。

〈AMEDがPPIを通じて目指していることは、以下の3つです〉

1
患者・市民に
より役に立つ
研究成果を創出する

2
研究の
円滑な実施を
実現する

3
研究参加者保護に
資する

人を対象とした、
医師主導治験・
介入研究・観察研究
(非介入研究)などが
対象です。

特定の人に研究に参加してもらうことや、社会へ研究成果を発信することはPPIには含まれません。

PPIは、研究者が患者・市民の意見を聞きながら、
参考になる意見を研究計画に反映して、ともに研究をデザインしていく手法です。

Q3 PPI活動って、何をすればいいの？

A

自分の研究にPPIを取り入れてみたい！と思われた方は、
ちょっと判断に迷うことについて、患者・市民の意見を聞いてみましょう。
以下のような具体例を参考に、PPIを実践してみてください。

例 1	患者・市民との意見交換会を実施し、そこで得た意見をもとに、自分の研究テーマの優先順位を検討する。
例 2	研究計画を練る際に、患者・市民の意見を聞いて、研究対象者の負担を減らすような参加方法（通院スケジュール、検査方法など）を決める。
例 3	説明同意文書を作成する際に、患者・市民に雛形を読んでもらい、わかりにくい箇所がないか確認したり、詳しく説明してほしい箇所／詳しく説明しなくてもよい箇所を聞いたりする。参考になる意見は、説明同意文書に反映する。
例 4	研究成果を発信する前に、患者・市民に発信内容に目を通してもらい、わかりやすい表現になっているか、聴衆として知りたい情報が載っているか意見をもらう。参考になる意見をもとに、発信内容を改善する。

意外と簡単な
ところから
始められるんだなあ

Q2 PPIのメリットは？

A

PPIの実施には、研究者、患者・市民の双方に
以下のようなメリットがあるとAMEDは考えています。

メリット

- 研究開発を進める
上での新たな視点と
価値を発見すること
ができる
- 患者の不安・疑問
点を解消し、臨床研
究の理解を促進する
ことができる

研究者

患者・市民

メリット

- 研究参加者にとっ
て負担の少ない実施
体制になる
- 患者・市民にとっ
て研究が身近にな
り、関心を高めるこ
とができる

Q4 PPI活動の注意事項は？

A

研究者からよく寄せられる相談をもとに、注意事項をまとめました。
PPI活動を検討・実践する際、ぜひ意識してみてください。

PPIに替えて、文献調査を通じて間接的に患者・市民の意見を推測するなどの代替活動から始めてもかまいません	PPIは、研究参加者を募集する場ではありません
PPIの目的（どんな意見がほしいのか）を、患者・市民に伝えましょう	患者・市民の意見をすべて受け入れる必要はなく、どの意見を採用するかは研究者が決められます

PPI活動を終わったら、研究計画にどのように反映したのか／しなかったのか、
患者・市民に結果を伝えましょう。